



平成28年4月28日

各 位

会社名 新田ゼラチン株式会社  
代表者名 代表取締役社長 尾形 浩一  
(コード番号: 4977 東証第一部)  
問合せ先 取締役専務執行役員 佐々木 恒雄  
管 理 本 部 長  
電話番号 072(949)5381

個別業績見込みの前期実績値との差異及び  
特別損失（関係会社株式評価損）の計上に関するお知らせ

平成28年3月期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）の個別業績見込みと前期実績との間に差異が生じる見込みとなりましたので、下記の通りお知らせします。

また、個別決算において特別損失（関係会社株式評価損）が生じる見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成28年3月期通期個別業績見込みの前期実績との差異

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり 当期純利益
前 期 実 績 ( A ) ( 平 成 27 年 3 月 期 )	百万円 21,872	百万円 377	百万円 1,213	百万円 816	円銭 44.44
当 期 実 績 見 込 み ( B ) ( 平 成 28 年 3 月 期 )	22,746	789	837	△269	△14.68
増 減 額 ( B - A )	873	412	△376	△1,086	
増 減 率 ( % )	3.9%	109.2%	△30.9%	—	

2. 差異の理由及び特別損失（関係会社株式評価損）の計上

ゼラチンは、国内で食用・カプセル用、コラーゲンペプチドは、インバウンド需要など健康食品向けが好調に推移したことなどにより、売上が増加し営業利益は前期実績を上回る見込みとなりました。

一方、為替相場の変動により、営業外費用で為替差損が発生し、加えて連結子会社であるニッターケージングズ Inc. の株式について簿価に比べ実質価額が著しく下落したことにより、特別損失（関係会社株式評価損）で850百万円を計上する見込みとなりました。

その結果、経常利益及び当期純損益は前期実績を下回る見込みとなりました。

なお、当該特別損失につきましては連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

以 上